



A-Paradise2017 Report

平成29年度 A-Paradise報告書

目次

ごあいさつ P2

A-Paradiseとは? P3

A-Paradise2017活動概要 P4

キックオフイベント/トークイベント/北アルプス国際芸術祭視察/
展示パネル作成ワークショップ/青森市のらしさを探すまとめるワークショップ/
八戸市視察/ま冬のワークショップ

A-Paradise2017 P7

当日装飾・出演/出展アーティスト P8

広報活動 P9

出演/出展アーティストの
「青森市とわたし」応募文章 P10

スタッフ、協力、協賛 一覧 P12

A-Paradise 2017開催! 青森のまちをアートと音楽でもりあげろ!

2017.11.18 土 BLACK BOX
2F BLACK HALL ほか

最新情報はWebをチェック! <http://a-paradise.com>
Follow us on @APara_AOMORI A-Paradise実行委員会

12時開場 12:30-20:00

当日サポーター募集中!

主催: 青森県アートカウンシル, 協賛: A-Paradise2017事務局 (青森市教育委員会事務局文化スポーツ推進課内)
Tel: 017-751-4509 Mail: main@a-paradise.com 担当: 伊藤 千穂 (2017年秋 文化庁 文化芸術推進部 参加プラットフォーム推進課)

A-Paradise

ごあいさつ

29年度もなんとか開催に漕ぎつけたエーパラ、4年目の開催となりました。昨年度までとは場所・規模・形態が異なる新しいエーパラを、お楽しみいただけたでしょうか。『A-Paradise 2017 あおもりとわたし』と題し、私たちが住む「青森市」というコミュニティと、そこに暮らす自分自身について思いを馳せてもらえるようなイベントを目指しました。

今年度はイベントの企画のほか、他団体の活動への参加や視察などを重ねてきました。長野県信濃大町で開催された「北アルプス国際芸術祭」の視察、八戸市「まちぐみ」代表者との懇談、青森市内で開催されたイベント「Aomori Coffee Festival」「楽市楽座」へのブース出店など。この活動をとおして、「想い」を「形」にするための取組を学ぶことができました。どんな取組も、その中心にはヒトがいます。ヒトをめがけてヒトが来る。ヒトが集まってコミュニティができる。そのことを改めて感じる事ができた年だったように思います。

現代人の繋がりの希薄さ。言い古されたことばではありますが、本当にそう思います。ひとりでいたって、インターネットがある。そこでは音楽が聴けるし、映画だって見られる。SNSがあれば、直接会わなくても話が済む。ひとりであることが苦痛ではない、ようになりつつある世の中。けれどやっぱり、そうして出会ったモノやヒトに、リアルで会う。触れる。感じる。また会おうって手を振る。そうやって育んでいかなきゃいけないです。これから。エーパラは、そんなキッカケになり得るイベントだと思っています。

今回、参加者の公募で手を挙げてくれた、むつ市の高校生パンクバンド「Soy Sauce Rice Crackers(通称SSRC)」。

3年生である彼らは、卒業前にこの青森市でライブをしてみたい、という想いで参加をしてくれました。会場を所狭しと使ったパワフルなパフォーマンスには、目を見張るものがありました。実はその後の1月、青森市のライブハウス「Quarter」でのライブが決定し、再び青森市のバンドマンを唸らせることとなったのです。こうして、エーパラをとおして青森市との繋がりをしっかりと作っていたSSRCは、本当に素晴らしいと思います。

でも、SSRCが「ライブをしてみたい」と思ってくれた青森市の魅力って、なんでしょうか？むつ市と青森市の、違いつてなんだろう？県庁所在地だから？人が多いから？ライブできる場所が多いから？意外と、住んでいると気づけない、この街の魅力。それを探し、一つ一つに付箋を貼っていくことが、これからの青森市には必要ではないでしょうか？

最後に、『演劇ユニット「終身雇用」』として、A-Paradise 2017のクロージングに朗読したテキストから一部を抜粋し、結びとさせていただきます。ご来場の皆様、関係者の皆様、本当にありがとうございました。

A でも、でもさ、雪が多いのは嫌だよな

B 嫌だよ。もううんざりだよ

A 給料が安いのも、嫌だよな

B 嫌だよ。もういっぱいいっぱいだよ

A それでもさ、この街にいる理由ってあるよな

B あるよ、山ほどあるよ

A だからさ、俺たちはさ、

ムカつくことも、投げ出したくなることもあるけどさ、

そんなのを抱えて、毎日毎日、ただ、この街で

大好きなこの街で、暮らしていくんだよ

A-Paradise部会長

演劇ユニット「終身雇用」代表

高谷 憲

「A-Paradise」とは？

青森市が毎年秋に青森市ベイエリアから商店街にかけての一带で開催しているアートと音楽のイベントです。

平成26年度から地域の学生と若い世代をメインに実行委員会を組織し、企画・運営・開催を行ってきました。

今年度は、文化イベント等の一体的かつ効果的な実施を目的に、青森市における質の高い、独自の文化芸術の創造を推進する「あおもりアーツカウンスル」と統合し、その部会として活動しています。

誰もがもっと気軽にアートと音楽に親しめるフィールドづくりを目指しています。

「A-Paradise」の「A」はAOMORIの「A」、ARTの「A」、情報を発信する電波塔のようなイメージの「A」を意味しており、「Paradise」は楽しい、賑やかなイメージを表現しています。

組織発足の背景

文化芸術が有する創造性を活かした魅力あふれるまちづくりに向けて、青森市が策定(平成24年度12月)した、「アートで音楽のあるまちづくり方針～文化芸術創造都市をめざして～」を推進するにあたり、これからの地域未来を担う若者が、自らの力でまちづくりを考え、自由な発想で、自分たちが魅力を感じる地域文化、アートシーンを創り上げる機会を設けるべく発足しました。

組織目標

【短期目標】

・参加する学生等が、自らの興味を掘り下げながら、実地的な活動の場をつくる。

・学生等が自ら地域課題を見つけ、今後の学習活動・研究に役立てられる。

・市民が気軽に参加・発表できるアートイベントとして広めていく。

【中期目標】

・学生等若者主体で活動できる体制を整える。

・運営側、来場者ともに地域との交流が活発になり、地域のアーティストの活動の場として認知され、市民や近圏の住民がまちを楽しむイベントのひとつとして認知。(常に新しい人材を受け入れ、彼らの1～2年内の活動もサポートし続ける)

【長期目標】

・地域を知り、5年後、10年後に地域を牽引するリーダーの育成に寄与する。

・音楽やアートで溢れる、多様な文化的魅力を持つまちに。

A-Paradise 2017 3つの取り組み

1.

ボランティア人材の
スキルアップ

2.

まちに根ざした
長期的な取組に向けた
環境づくり

3.

人材育成体制の
強化に向けた
取組の充実

「事例から学ぶ」

- アートイベントの運営に必要なノウハウをもった人材の育成
 - ・長野県大町市で開催された北アルプス国際芸術祭の視察
 - ・青森県八戸市でアートを活用したまちの活性化に取り組む
市民ボランティア集団「まちぐみ」の視察・意見交換 等

「人から学ぶ」

- 部会メンバーの育成を図るため、第一線で活躍するアーティスト等によるワークショップを開催

[講師]

 - ・DRESSEDUNDRESSED 北澤 武志氏 ・青森公立大学国際芸術センター青森(ACAC) 田名邊 元氏
 - ・京都造形芸術大学 酒井 洋輔氏 ・美術家 中崎 透氏 ほか

「まち・人とつながる」

- 文化芸術の創造性や魅力を活かし他団体連携と活性化を図るべく、商店街主催のイベントに参画し、「A-Paradise」のPRを行うとともに、ライブや写真展示、子供向けワークショップを開催 また、既存のイベントに加わることでイベント運営のノウハウを参加しながら学習

[商店街主催イベントへの参画]

 - ・楽市楽座
 - ・AOMORI COFFEE FESTIVAL

「自分たちでやってみる」

- 青森駅前にあるリンクモア平安閣市民ホールギャラリーを活動発表・ワークショップ等イベントの開催・会議場所・情報発信などA-Paradiseの活動拠点として様々な活用をすることにより、将来の目標である拠点確立の足がかりとして活動
- コーディネーターの活動をより充実させ、地域のアートや音楽に関する人やイベントの情報収集・データベース化を実施
- A-Paradise2017の開催



キックオフイベント

📅 7月1日(土) 15:00～
📍 リンクモア平安閣市民ホールギャラリー
👤 10名

これまで行ってきたサポートスタッフ募集説明会にあわせ、あらためて「A-Paradise」の開催意味や、今年度の重点取組項目について説明を行い、関係者間の合意形成を図ることを目的に開催しました。



トークイベント

📅 7月20日(木) 18:00～
📍 リンクモア平安閣市民ホール レストラン
👤 20名

青森市出身のファッションデザイナー北澤武志氏と学校法人青森田中学校 青森中央文化専門学校 トータルファッション科主任教諭 曾我 武氏によるトークイベントを開催しました。第一線で活躍するアーティストの仕事へのこだわりや、今後の夢や目標などについてお話いただきました。

>北澤 武志氏 自身が立ち上げたファッションブランド、DRESSEDUNDRESSED(ドレドアンドドレド)のデザイナーとして、世界5大コレクションの一つ、東京コレクションへの参加や、海外での受賞歴を有するなど、世界的な活躍をしているファッションデザイナー。青森市立横内中学校出身。



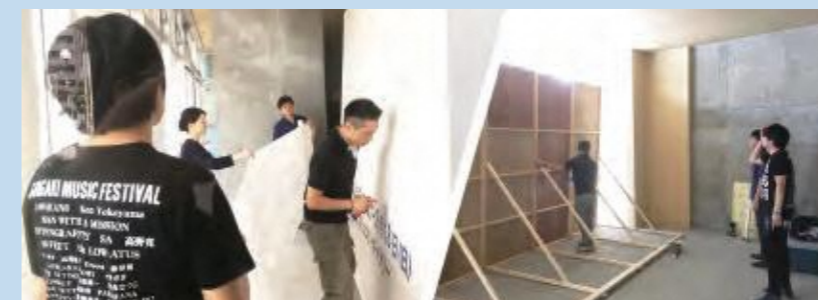
[先進地視察]

北アルプス国際芸術祭視察

📅 7月22日(土)・23日(日)
👤 2名

A-Paradiseというイベントをより地域の活性化につなげていくための手法や、北アルプス国際芸術祭におけるボランティアサポーターの募集・管理・運営方法等を参考にするため、長野県大町市を訪問しました。

北アルプス国際芸術祭2017 ～信濃大町 食とアートの廻廊～ 開催日程:2017年6月4日(日)～7月30日(日) 57日間開催 名誉実行委員長:阿部 守一(長野県知事) 実行委員長:牛越 徹(大町市長) 総合ディレクター:北川 フラム 開催エリア:源流エリア/仁科三湖エリア/市街地エリア/東山エリア/ダムエリア 出展作家:36組



[AOMORIトリエンナーレ2017関連イベント]

展示パネル作成ワークショップ

📅 7月31日(月) 10:00～15:00
📍 ポレスター新町プレミアムステージ 1階
西衝器製作所ギャラリー(青森市新町2丁目6-13)
👤 2名

青森公立大学国際芸術センター青森(ACAC)の田名邊 元氏とともに、展示パネルを制作するワークショップを開催しました。

アーティストを技術面で支えるテクニカルスタッフの仕事に焦点をあてたワークショップ



[AOMORIトリエンナーレ2017関連イベント]

青森市のらしさを探すまとめるワークショップ

📅 8月9日(水) 9:00~14:30

📍 リンクモア平安閣市民ホール 1Fギャラリー
青森駅前周辺

👥 6名

私たちが毎日生活している青森市。その青森市らしさ、魅力、他の街にはない独特の文化って何だろうということ、カメラを片手にリサーチ「あおもり」を切り取るワークショップを開催しました。

>酒井 洋輔氏 京都造形芸術大学 空間演出デザイン学科 准教授/アートディレクター/ジュエリーブランド(株)CHIMASK 代表。いろは出版(株)にて、雑誌ブランド「AIUEO」を立ち上げ、取締役を務めた。デザイン部を設立し、ブックデザイン・広告・CDジャケット等多岐に渡りデザインワークをこなす。AOMORIトリエンナーレ2017チーフデザイナー。平成28年9月から青森市内をリサーチし、100件以上の店舗や事象の収集を行い、平成29年12月に青森市の魅力的な場所や人、モノを紹介する「AOMORICITY GUIDEBOOK」を作成。



[先進地視察]

八戸市視察

📅 8月26日(土) 9:00~20:00

📍 まちぐみラボ・八戸ポータルミュージアム
(はっち)・八戸ブックセンター

👥 6名

市民の「やってみたい」アイデアをサポートし、まちを動かす「ひと」を増やしなが、中心街に賑わいを創出しようと活動する市民ボランティア集団「まちぐみ」のディレクターでありアーティストの山本耕一郎氏に、これまでの活動について教えていただき、またA-Paradiseの活動についてアドバイスいただくワークショップをまちぐみの活動拠点である「まちぐみラボ」を会場とし開催しました。あわせて、八戸市のまちなかの現状把握を目的に、「はっち」や「八戸ブックセンター」などの視察も行いました。

>山本 耕一郎氏 1969年名古屋生まれ。筑波大卒。英国ロイヤルカレッジオブアート大学院修了。街の人たちのうわさが書かれたフキダシを商店街に張り出す「うわさプロジェクト」など、地域と深くかかわるプロジェクトを展開。2012年から八戸市南郷島守に移住し、全国でプロジェクトを進行中。



[AOMORIトリエンナーレ2017関連イベント]

ま冬のワークショップ

📅 2月8日(木)・9日(金) 13:00~

2月10日(土) 10:00~

📍 青森公立大学国際芸術センター青森(ACAC)木工室
青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸前広場

👥 述べ60名

雪国だったら当たり前のように積もり、冷たくて邪魔で厄介者でありながら、時にはとても身近な遊び相手でもあったりする雪を楽しむことを目的に、ACACの木工室にて日用品や木材を素材にした雪の上を滑る道具を作り、八甲田丸前の1日限りの「雪の遊戯室」で「雪の上を滑る、歩く」をキーワードにいろいろな雪の上の遊びを実践するワークショップを開催しました。

>中崎 透氏 美術家。武蔵野美術大学大学院造形研究科博士課程単位取得退学。現在、茨城県水戸市を拠点に活動。看板をモチーフとした作品をはじめ、パフォーマンス、映像、インスタレーションなど、形式を特定せず、制作を展開している。展覧会多数。

>小嶋 亮平氏 スキーヤー、クライマー、ライター。冬や山に登りスキーを履き、オフシーズンはクライマーとして岩場に通いつめる。東京でありながら家賃2万円の共同風呂付きの賃貸物件に住み、節約して浮いたお金をギアと遠征費に使用し、東京でパウダースノーを滑るなどスキーを用いて変わったことをしている。

|A-Paradise2017|



A-Paradise2017

📅 11月18日(土) 13:00~

📍 BLACK BOX

👥 500名

「あおもりとわたし」をテーマに参加者を公募しBLACK BOXにてイベントを行いました。参加者の公募は「青森市とわたしたち」をテーマにした400字程度の文章の提出を条件とし、イベントに対して共感してくれる参加者のみに限定しました。オープニングでは青森市長 小野寺 晃彦 代理 青森市副市長 前多 正博氏と、ご来賓に昭和通り振興会 会長 中川 英昭 様を迎えてご挨拶いただきました。またMCを元FM 青森アナウンサー横山 琢巳氏にお願いしイベントを進行いただきました。

当日装飾・出演/出展アーティスト

> 当日の会場装飾

イベント当日の会場表記や装飾、サイン等についても、メインビジュアルを依頼したデザイナーの村井氏を中心に、実行委員やボランティアにて作成・設置等を行いました。また、展示アーティストの作品も装飾の一環として取り入れさせていただき、当日の空間を作り上げました。



装飾用図面の一部



会場装飾の一部

>グッズ制作

協賛金へのお礼と、イベント認知度向上のためグッズを制作しました。



ステッカー/缶バッチ

スタッフパス

> ブース出展アーティスト



青森戸山高校美術科有志
「そのごの美術科」

QRI

工藤友哉

けい君

やっぴまフェスティバル

> ステージ出演アーティスト(タイムテーブル順)



A-Paraバンド

エイイチロウバンド

Soy Sauce Rice Crackers

津軽カタリスト青森支部

Broken Cadies

Shelves

Woman Wonderful

ユミチャラティ&マツキリョウタ

CRYLASH DUMMY

シベリアンハスキーズ

新谷隼平

advisory booth

演劇ユニット「終身雇用」

ただそこにいる

広報活動

> チラシ、ポスターの制作、設置

出演者募集やワークショップの開催に合わせチラシを制作。またメインビジュアルを青森で活動しているデザイナーであり、部会メンバーである村井香穂氏に依頼。イベントの内容等について意見交換をしながら、メインビジュアルのコンセプトを「BLACK BOX=おもちゃ箱」とし、ポスター(A2サイズ)とチラシ(A4おもて裏)を制作。昭和通り商店街を中心に各店舗をまわり設置していただきました。また、各店舗へのポスターとチラシの設置依頼にあわせ、協賛金の依頼を行いました。



A-Paradise 2017告知チラシ
(デザイン:村井香穂氏/PINTTO)



ワークショップ・出展募集チラシ
(デザイン:齋藤純子氏/カッコトジ)

> メディア出演、SNSなどの発信

コーディネーターのエイイチロウ氏が地元ラジオ番組に出演したり、ウェブサイトとSNSを活用したりしながら、草の根の広報活動を展開しました。



FM青森ヒルモット 11月14日(水) 11:30~12:00

Web

Facebook

Twitter

> 商店街主催イベントへの参画

文化芸術の創造性や魅力を活かして他団体連携と活性化を図るべく、商店街主催のイベントに参画し、「A-Paradise」のPRを行うとともに、ライブや写真展示、子供向けワークショップを開催しました。

楽市楽座

「おやさいクレヨン(mizuiro.inc)でオリジナルのお面作り」

📅 9月2日(土) 11:00~ 📍 善知鳥神社



青森発祥の地「善知鳥神社」固有の文化遺産と県内外のモノづくり、アート、フード、音楽、お祭りのコラボで、現代の楽市楽座として青森中心商店街振興、未来に向けての歴史・文化継承のためのイベント。ワークショップ以外にも急遽ステージでエイイチロウ氏が歌を披露したりと地域の方と関わり合いながら参加しました。

AOMORI COFFEE FESTIVAL

「ジャラジャラ♪コーヒー豆でマラカス作り」

📅 10月7日(土) 10:00~ 📍 昭和通り商店街



「コーヒーで青森を元気にする」をテーマに、コーヒーを通じて、人とショップをつなぎ、街全体を元気にしようという試みで、今回が2回目の開催となるイベント。Cafe Gitane様より形が悪く廃棄になるコーヒー豆をいただき、コーヒーが飲めない子供も楽しめるワークショップを開催しました。

【 スタッフ、協力、協賛 一覧 】

(敬称略、順位不同)

あおもりアーツカウンシル A-Paradise 部会

部会長	高谷 憲	
副部会長	福田 真紀	
委員	工藤 桂介	村井 香穂
	東 広大	齋藤 純子
	金山 勝	曾我 武
	鈴木 麻理奈	藤川 日菜子
コーディネーター	エイイチロウ	

部会開催実績

第1回 6月5日(月) リンクモア平安閣市民ホール レストラン
を皮切りに、年度内に20回以上の会議を開催

サポートスタッフ

宮野 春香	工藤 桂介	工藤 友哉	谷川 逸美	越後 千寿	横山 琢巳
小山内 理恵	川村 結衣	松木 亮太	高松 竜也	成田 興平	久慈 聡
渡部 一真	金山 勝	田中 和樹	蛭名 悠晏	越田 智輝	相馬 竣
西村 友利	中村 慎之介	奈良 匡親	西塚 友晴	鈴木 真歩	對馬 琴苗
伊藤 彩夏	小笠原 若菜	斉藤 日南	須藤 遥	成田 りな	小澤 寧子
風穴 真梨子	齊藤 悠真	小早川 昂平	土田 きらら	三上 悠梨菜	松村 昭平
鎌田 慎吾	白戸 はるみ	高樋 忍	山上 知範		

協賛

協同組合タッケン、PENT HOUSE、(有)ナンデモヤ、青森市文化観光交流施設 ねぶたの家 ワ・ラッセ
幌加内蕎麦と酒菜 穂ろ香、あぶり天丼 天じゅん、くどうラーメン、嶋中 克之、三澤 章、柳谷 一哉

協力

青森駅前周辺商店街等 店舗の皆様、ポスター・チラシ設置にご協力いただいた皆様

助成

平成 29 年度 文化庁 文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業

主催

あおもりアーツカウンシル A-Paradise 部会・青森市・青森市教育委員会

事務局

あおもりアーツカウンシル A-Paradise 部会事務局 (青森市教育委員会文化スポーツ振興課内)

TEL : 017-718-1432

本事業を運営するにあたり、ご協力いただいた多くの皆様には心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

A-Paradiseオリジナルテーマソング

「A-Paradise」

作詞・作曲/エイイチロウ

Aで始まる赤リンゴ
Aで広がる青い海
Aでときめく熱い夏
Aで深まる青い森

それらで高鳴って重ねたその手に
ファンファーレ 轟いて驚いて
楽園はつながって広がっていくから
みんなの Aを今はめこんで

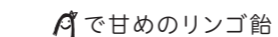
それらが集まって重なっていく街
僕らは味わって高鳴って
楽園は交わって高まっていくから
みんなの Aを今持ち寄って



この楽園は
君のピースが必要なのさ



僕らの街はAで始まりIで終わるの
つまり青森 愛のあいだに



Aで甘めのリンゴ飴
Aで赤めくあの娘の頬
Aは Aでも十人十色
Aで始まる明日がある



この楽園は
君のピースで出来上がるのさ



僕らの街はAで始まりIに終わるの
つまり青森 愛のあいだに



ねぶた祭りで騒ぐ血潮 その魂が



僕らの街はAで始まりIで繋ぐの
ほらね ここから会いに行こうよ



A-Paradise を一緒につくるメンバーを募集しています



A-Paradiseでは今後の活動に向け、活動内容の決定や制作、ワークショップの運営などに関わり、一緒にイベント作り上げてくれる仲間を募集しています。当日のお手伝いや出演・出展だけでも大丈夫です。青森市でアートや音楽に関わりたいと思っている方、輪を拡げたいと思っているかた、ぜひ一度会議にいらしてください！

お問合せ：

あおもりアーツカウンシルA-Paradise部会事務局(青森市教育委員会文化スポーツ振興課内)

TEL : 017-718-1432 E-Mail : main@a-paradise.com